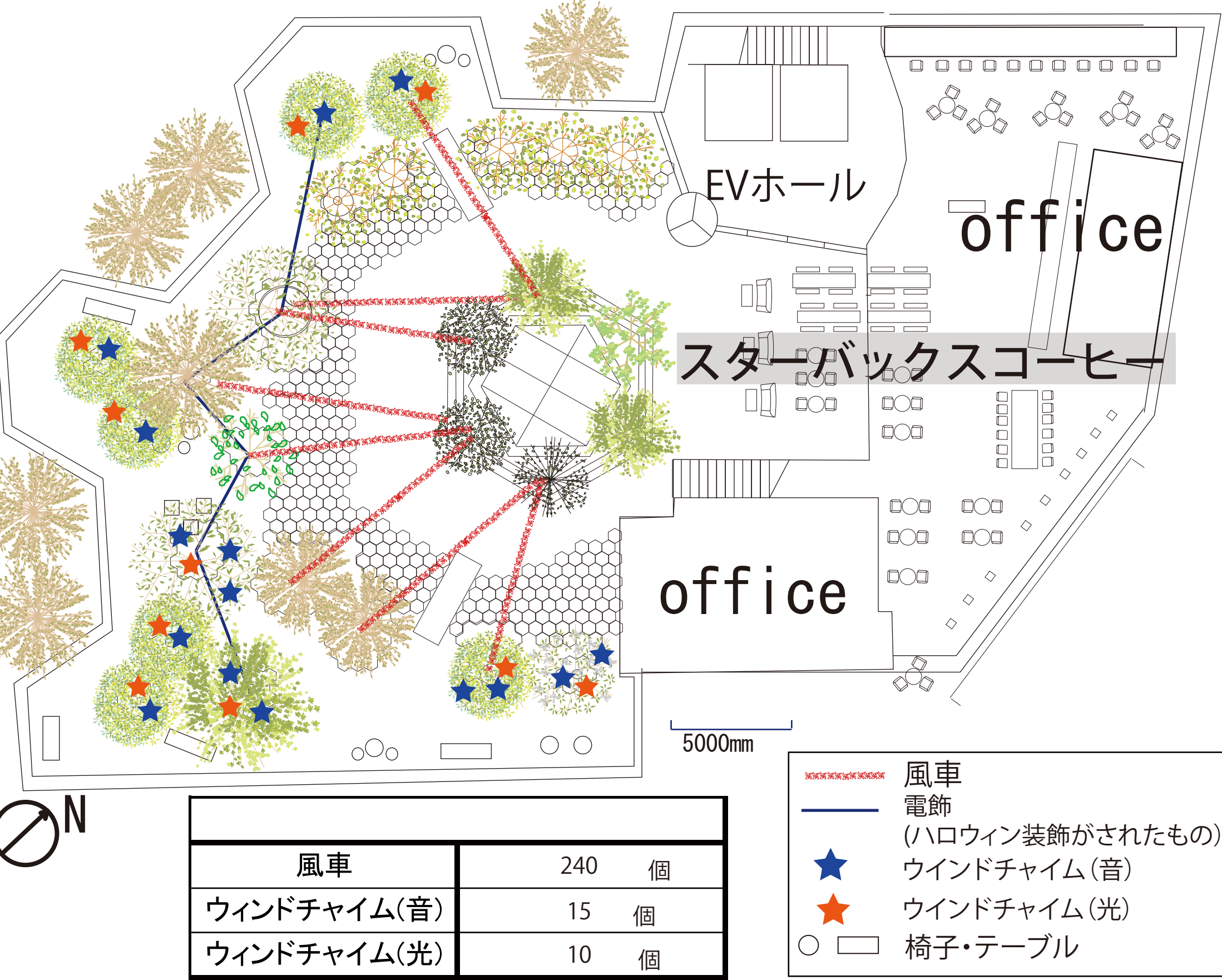


# 自然環境の体感強化を狙った商業施設屋上での装飾

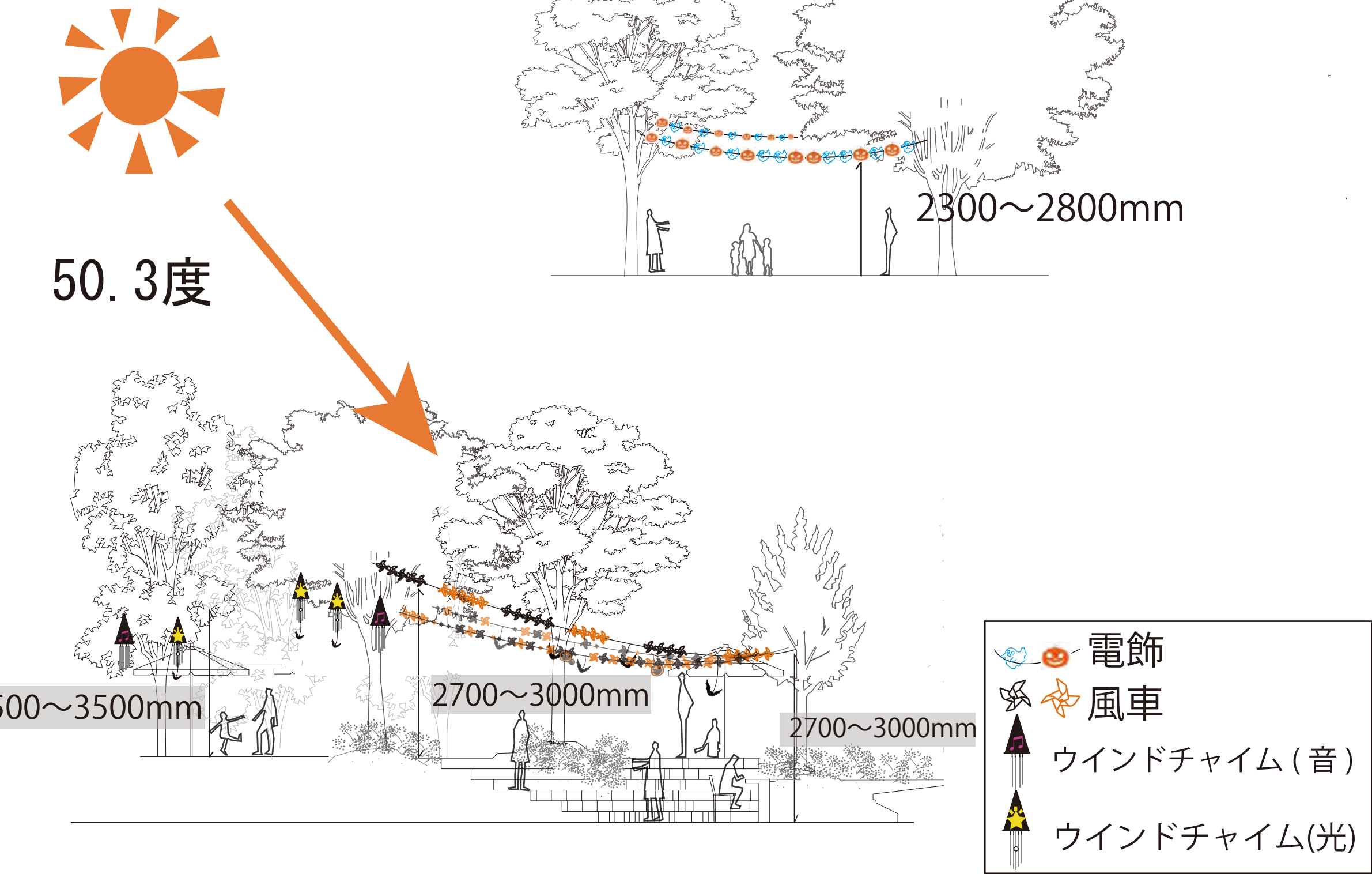


自然光や緑を快適に感じることのできる「おもはらの森」のいたるところでハロウィンをモチーフとした環境体感装置を設置しました。風によって回転するコウモリやパンプキン、音に反応して点滅するお化けなど数百点が、おもはらの森の上空を彩りました。空気の流れを視覚や聴覚などの異なる五感要素に変換することで、日常的には意識しにくい自然環境の変化を来訪者に十分に感じてもらいながら、都心の中で立体的な秋の環境空間を演出しました。

## plan



## section



### 風を視覚化するかざぐるま

風の強さを目で見ることで体感出来るようになりました。また風車の羽をハロウィンの色味や秋の紅葉に似た色味にし、秋という季節を体感してもらうことにも繋がりました。木と木を繋ぐ配置により森の一体感を表現しました。



### 風を音に換えるウインドチャイム

風が吹くと綺麗な音色を奏で、森で過ごす人の心地よさを音により良くしました。風車のように視覚的だけでなく音によっても風を体感してもらうことにより、さらにおもはらの森の風を体感してもらうことが出来ました。



### 音に反応し光の強さが変わるお化けたち

木に設置してある調光器によりその場の音の大きさによって光の強さが変わります。光が少ない周辺部分の木と木を繋ぐように配置することで、暗がりの部分に適度な明るさを保ちつつ、森の一体感を表現しました。

### 手作り風車のワークショップ



約100人の参加者が自分だけのオリジナル風車を制作し、風車を持ち歩いておもはらの森の風を体感しました。